



編集発行  
羽津北小学校  
PTA広報部  
印刷  
阿竹印刷工業(株)

第 13 号

# 華やかな応援合戦

末澤 元宏



重苦しい空模様を心配しながら  
やや強行気味に、第二回運動会が  
始められました。

「児童入場」

パン・パン・パン・パン

高学年の堂々たる行進？

低学年の元気あふれる行進！

開会式が進むにつれて、空には

雲の切れ間もできてきました。低

学年の元気よさが、雨雲を追いは

らったのでしょうか。

準備体操を終え、二年生の八〇

メートル走から、いよいよ競技の

開始です。昨年の優勝は、青組。

今年は何組の手に？

羽津北小になってから、三色対

抗の形式で行なわれ、子供たちも

二年目になり、競技・応援への力

の入れ方もわかってきたようです。

そこで、今年は応援合戦がとり入

れられました。

リーダーの指示のもと、大きな

声を出して、



「フレ、フレ、○組」  
「ガンバレ、ガンバレ、○組」  
みんなで調子をそろえて、  
「チャツ、チャツ、チャ  
チャツ、チャツ、チャ  
チャツ、チャツ、チャツ、チャ  
ツ、チャツ、チャツ、チャツ」  
の三・三・七拍子。



チャ・ガールや太鼓による応援  
も工夫されて、楽しい応援風景で  
した。

そして、運動会の最後には、一  
年生から六年生まで、全校そろつ  
ての演技、ドレミの歌。

六年生などは、手をとり合い、  
肩を組むのを恥ずかしそうに練習  
していたのですが、当日には、小  
学校最後の運動会、という意識も  
はたらいたのでしょうか。友と楽し  
く、他学年と調和もとり合い、す  
ばらしい演技になりました。

開始が約一時間遅れたのですが、  
係児童の素早い動き等によって、  
定刻に終了することができました。  
ただ、PTA演技の変更が残念に  
思われました。

一組 J.S

十月七日、授業参観と性教育についての講演が、体育館で行なわれました。

今回の授業参観は、四年生だけのものであり子供の授業を久しぶりに最後まで見る機会に恵まれました。授業に入る前に、子供達が育て収穫したさつまいもについての報告が先生よりあり、授業は理科。過日に行なわれた実験を元にして進められました。子供達の授業態度も、四年生という自覚の表われが、流石に静かでさわわつた所はありませんでした。

クラス全体の様子を見ながら、四年生とはこんなものかなと思いつつながら改めて日頃子供に接している自分の態度をも考えさせられる授業参観でした。

後で行なわれた講演では、思いもよらなかつた様な実例報告に、唖然とさせられ性に対する関心の低年令化に複雑な思いですが、この度の講演は、親の心の準備として非常に意味深いものであったと思います。

一組 K.T

昨年行われた時欠席してしまい少し残念に思っていました。再度の声がかかり機会に恵まれました。

今回は特に「男子について話して頂き、中一の息子を持つ親として大変勉強になりました。日常の

会話ではこの様な内容の話をすることもなく、又、殆ど無知であつても息子は父親に任せればと安易に考えていたのは間違いだつた様です。

性に関する興味・体験が年々、低年齢化されている現実を知り、親としての心構えも多少備わつたつもりです。成人していく課程に於て誰も体験し、知識を得ていくなかで、過ちのないように導いてやりたいといつづく思いました。

今回の企画に感謝すると共に、今後このような講演に積極的に参加して頂くと、多少なりとも子育てに役立つのではないのでしょうか。

一組 M.H

小学六年間の歳月の中、四年生の時期、ちよつと分岐点に入り、勉強はもとより、身体の成長が著しくなり、性に対する関心もめばえる。それゆえ、親は子供達の生活を見守り、その時点で、適切な対応が出来る様にとの配慮で、十月七日、四日市市教育委員の金川靖先生をお招きして、「性教育について」の講義を開催致しました。

冒頭、現実をあるがままに受けとめなければいけない。現在の子供達の成長のデータを知つておく必要がある。少しづつではあるが着実に、性に対する興味が広まっているという実態を、目の当たりにし一瞬館内にざわめきがある。その後、先生の講義に吸い込まれる様になるほど、そんな

あつた。時には「えー」という色々な声を耳にし、一時間が過ぎた。

その中で、成長期の子を持つ親として避けて通る事の出来ない、「性」教育をどのように行つていつたらよいのか。最も必要とされるのは……。私なりに書きとめておきます。①親はあわてず、自分の体験を話してやる事。②息子は父親、娘は母親が気を配る。③親の最大のつとめは子供の体験が異常なものではないと安心させる事等々。我が家も、平生の家族の対話を大切にしたいと思ひます。



一組 S.K

十月七日、授業参観を兼ねて、学年行事が行なわれた。今まで、二人の子供を、掛け持ちで回り、ゆつくりと参観出来なかつたので、今回は楽しみにしていました。四年一組は算数の授業でした。

性教育講座(四年生)

学年行事に参加して

親子で遊ぼう(二年生)

一組 E.K

親子でのミニミニ運動会。終つてから子供に「何が一番おもしろかつた?」と聞きまじたら「そりゃあ、おんぶ」と即座に答が返つてきました。家でスキップが足りなかつたかなと反省しました。

腰をかがめて走る種目が多くて疲れましたが、目を子供の目の高さにとすとこのことは、それだけ早く仲良しになれるということかも知れませんね。人なつて、元気いっぱいの子供達との遊び会本日に楽しかったです。お世話して下さいました先生方、どうもありがとうございました。



一組 K.A

前日から雨で心配しましたが朝起きると晴れ。絶好の日和りとなりました。

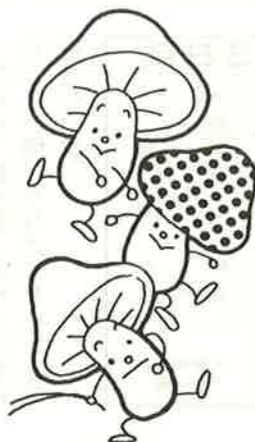
秋の一日子ども達と童心に戻つて遊ぶことができました。子供達の足の早いこと、おびつた時のあのズツリした感触。日頃、大きくなつたせいもあつて体と体を触れあつて遊ぶことなど少なくなりましたから、改めてその成長ぶりに驚かされました。

先生方やお田様方の御協力のおかげでスムーズにゲームやダンスなどがとりおこなわれ、どうもありがとうございました。あとは足腰の痛みがはやくとれるよう願つばかりです。

一組 F

秋晴の良い天気恵まれ、二年生の学年行事が、多数の父兄のご参加により10月20日行なわれました。親子のゲーム遊びで、目かくしをした親の手をひっぱつて子供たちのいきいきした顔、顔、久しぶりに子供をおびつて他のチームに、負けまいとする親の顔、とても早いチームもあり、はらはらするチームもありました。フォークダンスも、T.Mの歌で、子供たちは大変上手で、我が子の成長ぶりに、うれしく思いました。先生と父兄と子供とのつながりを持つ、よい機会であつたと思ひます。

後になりましたが、諸先生様の御協力により、楽しい一日を過ごせました事を、深く感謝いたします。



一組 T.H

十月二十日、秋晴れの下、羽津北小学校校庭に於て、二年生の学年行事が、行なわれました。クラス対抗の競技が、三つと、フォークダンスを行ないました。親子三人が、一組となつて、一本の棒を持つて、旗を回つて帰つ

日頃、分からない所を教える程度の、手前がな、放任主義の母親でしたが、ずいぶん内容も難しくなり、自己の努力次第で、能力に差が付き始める、学年になったのだあとつづく感じさせられました。

後半は体育館において、性教育の講演会がありました。今回は男の子の性についてのお話が大半を示めました。今まであまり、考えた事がなかつた、だけに、驚きと戸惑いが交差した。言いよつたない気持ちになりました。スライドでは、親子のふれ合いの中での性教育を教えられ大変参考になりました。昔に比べ心身共に成長が早くなり、親子共々、大切な時期を向かえているのだとますます思ひました。大変、勉強になりました。

三組 S.S

最初に五年生の男の子が見たり聞いたりしていたという俗に言う「二本とテープを聞かされ、一同「まさか?」とぞぞぞと」言つたものの、そういうものが、子供でも手に入ることに驚かされました。性的情報に汚染されると、目にふれないようにと、大人がかくして入つてくるので、その中で何が正しいかを教えてやるのが、私達大人の役目だと思ひます。男の子の性については、なかなかわからず、先日の話で、少しはわかつたように思ひます。赤ちゃんはどこから

の質問に、「赤ちゃんの通る道があつてお医者様だけが知つてみえるのよ」なんて今は言つてはくれない、それはおかしいぞ、つて聞かれるかわかりませんが、こうして話を聞かせてもらつていると、それもよつと答えられるのではと、思つています。

三組 H.M

今日の学年行事の授業参観は、体育「表現」です。私達の子供の頃にはなかつた学習です。行進から始まり、「鏡」一人の子が演じるのと同時に演じる、伸び縮む「空中に大きく背伸びしたり、床に寝そべつて伸びたり縮こまつたりする子、硬い軟かい、しゃぼん玉がぶくちんで凍つていく様子、割れた所、みんな目がいきいきと、広い体育館一杯に走つたり、飛んだりはねたり、思いつきり伸々と人真似ではなく、先生からの押しきせでもなく、自由に個々のイメージを体全体で表現している様子が、とても印象的でした。

夏休みをはさみ、男の子はことなかたかましく、女の子は何となく丸味をおび、少年期、少女期へと移行してきたこの時期に、「性」について考えるという講演を聞き、それを参考にし、何事についても卒直に話し合えるような、温かみのある家庭にしたいと思ひました。

三組 N.T

もしました。あの頃は、背中にかくれていたのに今は、はみ出して重い事々々。今年生、学期の真只中、いつのまにか目を見ればかろに成長している姿を改めて見直す事の出来た平日でした。やはり疲れました。でも心はさわやかです。役員の皆様すばらしい企画をありがとうございました。

三組

秋晴れの、すがすがしい天気に恵まれ、10月20日に、学年行事が行なわれました。

準備体操の時点で、既に、呼吸が乱れ、弱音を吐く親も、かなり多く、日頃の運動不足を痛感。休む間もなく、ゲームに入り、これ又、先生方や役員様方の苦肉の策とも思われる、親イジリ(の)、二種類のゲームを行いました。

とりわけ、子供を背負うゲームでは、親子一体となり、子供の喜びが、肌を通して伝わつて参りました。最後に、ダンスを踊り、約一時間足らずではございましたが、大変楽しく過ごさせて頂きました。



# 思い出いっぱい

心配された台風も通過して予想以上の好天に恵まれ、事故や大きなケガもなく無事、全日程を終えることができました。

|       |                  |
|-------|------------------|
| 10:00 | —センター着—<br>野外観察  |
| 14:30 | 入所式<br>オリエンテーション |
| 16:00 | 夕べのつどい           |
| 16:40 | 夕食               |
| 19:00 | 入浴               |
| 21:00 | キャンプファイヤー        |
| 22:00 | —消燈—             |

## 野外観察

酒井 陽子

センターへ来てすぐに、野外観察へ行きました。観察したところは二コースでした。

山道をぐるぐる回ってつかれたけど、色々な植物を見ているとえらいのを忘れて、なんとノート五



ページも調べていました。枝の曲がっているのやら幹が太いのやらめずらしい植物がたくさんありました。なかでも「カクレミノ」という植物の名が印象的でした。でも、わたしの知っている植物は、ほとんどありませんでした。山の中をずっと観察したら、「もつとたくさんさんの植物を調べられたらうなあ」と思います。

|       |              |
|-------|--------------|
| 6:30  | —起床—         |
| 7:10  | 朝のつどい        |
| 7:30  | 朝食           |
| 8:30  | 清掃           |
| 9:00  | 宮妻峽<br>ハイキング |
| 15:00 | 自由時間         |
| 16:30 | 夕べのつどい       |
| 16:50 | 入浴           |
| 18:30 | 夕食           |
| 19:00 | 映画           |
| 21:00 | —反省会消燈—      |

## 宮妻峽

森 干夏

一日目は、朝から雨がふっていました。「宮妻峽へは、行かない。」と思っていたのに行くことになった。片道二時間と聞いて、

「あーあ。せっかくセンターにおれると思っただのに。二時間も歩くなんてつかれるな。」

とつぶやいて、雨がひどくふるように、てるてる坊主を作り逆さにしてつるしたけどだめだった。

宮妻峽の近くを流れる内部川の水は、すごく冷たかった。川の水



ちて石をつんで小さなダムみたいなものを作ったりした。

帰るときは、ちよつと遠回りだったけど、歌を歌ったりして楽しかった。雨じゃなかったら、また行きたいなあ。

|       |        |
|-------|--------|
| 6:30  | —起床—   |
| 7:10  | 朝のつどい  |
| 7:30  | 朝食     |
| 8:40  | 清掃     |
| 9:00  | 作文・読書  |
| 10:30 | 昼食     |
| 11:00 | 退所式    |
| 12:00 | センター出発 |
| 12:30 | —学校着解— |
| 14:00 | —学校着解— |

## 忘れられない三日間

大和田 博子

二日目の朝のつどいは、しゃべらず、すばやく集合できた。「最後の日だもんな」と思っ、いつもより大きな声で校歌を歌った。

センター出発の時、音楽を聞いてもらって別れた。その音楽が、どこまでも聞こえた。センターの人たちはとてもやさしい人だ。私たちの姿が見えなくなっても、流してくれている。

音楽を聞いていると、三日間の楽しい思い出がいっぱい出される。森林観察、キャンプファイヤー、ハイキング、入浴、とつても早い三

日間を思い出すと涙が出てくる。それを口びるをくいしばってこらえた。このグリーンスクールは、一生忘れないだろう。

## 安全指導は

### 家庭でも

十月二十一日(金)に、全児童を対象とした交通安全教室が開かれました。

内容は、自転車の安全な乗り方を身につけ、一般道路での事故を未然に防ごうというねらいのものでした。特に、一列走行。手信号の徹底に気を付け指導が行われましたが、それでも子供達はうまく言った通りには動きません。右へ曲がるのに、左へ曲がる合図をしたり、一時停止を守らなかつたり、車(大型自転車が車の代わり)が来ても、平気で横断して何度もはねられる?という場面がありました。

もちろん上手に走った子もいました。それに、一列走行はほとんどの子どもが守れたみたいです。その後、歩行者と自転車に分けて練習をしましたが、これにはびつくりしました。右側を走る自転車、左側を歩行する子ども。普段の様子が出たみたいで残念でした。

昼からは五・六年の指導。これには五人の安協の方も協力していただき、より徹底した指導がなされました。

全体を通して感じたことは、運

動場での練習は、車・単車などは走っていません。そんな中での練習ですから子供達は今一つ気がひきまりません。一般道路へ出る時は、やはり家庭の方でも十分に安全指導をしていただくことが大切だと考えます。

西村 茂



## 編集後記

★第十三号発行が、大変遅くなつたことをおわびします。

★各部の行事及び運動会等、いろいろ行事が多く、すべてをのせたく思い部員一同が、がんばつての編集でした。

★今回ご投稿をいただいた方々に、お礼申し上げます。

★ケヤキちゃん、今回は、紙面の都合上、休みます。